

3月例会

3月例会におきましては、皆様のご協力のもと無事に終えることができました。

尾道青年会議所にとって至上命題の会員拡大。

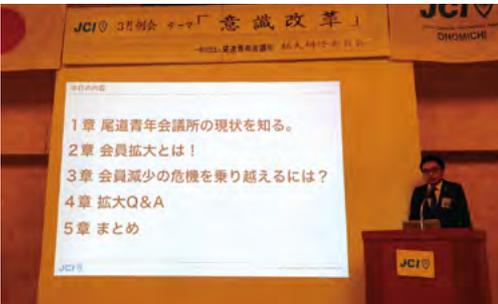
本例会は、テーマを「意識改革」とし、会員減少傾向にある尾道青年会議所の現状を知り、会員拡大の重要性を今一度考え再認識して頂ければと考え設えました。



拡大研修委員会メンバーのプレゼンテーションから始まり、各テーブルに分かれてのディスカッションで拡大

に関しての手法や問題点の議論を深めていただきました。

本例会では日本青年会議所中国地区広島ブロック協議会の公式訪



問もあり、ブロック運営団の皆様にもディスカッションにご参加頂きご意見を頂き、更に議論を深めることができたかと思えます。

吉川会長をはじめとしますブロック運営団の皆様、ありがとうございます。

ディスカッションの発表から、メンバーの熱い想いを聞き、事務局をはじめとする2018年度各委員会からも目標人数を頂きましたので、今後の拡大活動も尾道青年会議所一丸となって進むのではないかと感じました。

拡大研修委員会は、60年以上脈々と受け継がれてきた心を次代に引き継ぎ、会員一人ひとりが輝き、まちづくりの「礎」となる多くの仲間が集う組織を築くために、拡大活動を精力的に行つてまいります。

また、拡大活動を成功させるためにはOB諸先輩方、現役会員の皆様のお力添えが必要となりますので、皆様のご支援ご協力を何卒、宜しくお願致します。



ブロック公式訪問

3月16日(金)尾道国際ホテルにて開催された3月例会に、吉川泰正ブロック会長をはじめとする広島ブロック協議会運営団の皆様が公式訪問でお越しになりました。

例会行事終了後の懇親会では広島ブロック協議会の委員会紹介が行われ、出向していないメンバーにも広島ブロック協議会の活動について知って頂けたかと思えます。



また、ブロックゴルフ大会に向けて尾道JCIメンバーとブロック役員・運営団の皆様とで交流を深めることも出来ました。

(記事：鍋島巧)



委

員

会

紹

介

ブロックゴルフ大会実行特別委員会

幹事 岩井達也



ブロックゴルフ大会実行特別委員会の岩井です。まずは4月14日の広島ブロックゴルフ大会では多くの方のご支援とご協力のおかげで無事に終わることができ、本当にありがとうございました。

当委員会では歌、岡本の両副実行委員長の下、5月・7月例会、クリスマス会、しまなみ3JC事業を計画しております。今年は今治市との姉妹都市提携50周年という節目を迎えるため、委員会メンバーでしっかり議論を重ねていきたいと思っております。

まだまだたくさんの事業が控えており、成功させるには皆様のご協力なくして成功は無いと思っておりますので、ご支援とご協力を何卒宜しくお願い致します。

会員資質向上委員会

長坂 侑



会員資質向上委員会の長坂侑と申します。

会員資質向上委員会は中島委員長の元、会員一人ひとりがスキルを向上させ、尾道青年会議所に土台をさらに強固にすること、そして、思いが同じ者同士が切磋琢磨しながら共に学び成長し、共に地域の為に活動することで、魅力ある人として、魅力ある組織として尾道青年会議所の存在価値を高めることを目的としています。

その目的の為に、4月家族会、8月夏期講習、10月例会、会員資質向上を目的とした事業に取り組んでまいります。

現在当委員会では、4月22日(日)に行われる家族会に向けて、会員家族の皆様が一緒になって楽しめるよう準備を進めております。ぜひ皆様奮ってご参加いただけますようお願いしております。

地域教育推進委員会

池田 知和



地域教育推進委員会では、4月例会に畑喜美夫氏をお招きし、ボトムアップ理論～自ら考え行動する力の引き出し方～というテーマでご講演をいただきます。この事業をスタートに青少年育成事業、地域教育推進事業と展開していきますが、真面目で男前な市職員の新宅委員長、どでかい車に乗っている井上副委員長を中心に私たち委員会メンバーが主体性を持ち、色々な意見を出し合いながら事業に取り組んでいきたいと考えています。私たちが1年間を通し「ボトムアップ理論」を実践していきます！

今年一年間宜しくお願いいたします。

社会開発委員会

小川 直紀



社会開発委員会は新年宴会、みなと祭、ベッチャー祭りなどの祭事、防災事業を展開してまいります。メンバーはお酒とお金と女性をこよなく愛し、強いリーダーシップでメンバーを引っ張っている河原委員長を、冷静沈着な石森副委員長が的確にサポートし、率先して自覚ある行動ができるフロアメンバーとバランス良い構成となっております。どの事業においても“置きにいかない”“全力で腕を振って取り組む”“やりきる”を合言葉に、事業の本質を追及し、地域のため、誰かのために行動できる人間へ一年間通して成長していける委員会です。

ブロック野球大会告知



5月13日(日)、東広島の地におきまして、本年も広島ブロック野球大会が盛大に開催されます。昨年は予選を通過するも4位という結果に終わり、惜しくも地区大会への出場を逃してしまいました。本年は卒業予定者11名全員が参加を表明しており、例年以上にやる気に満ちたメンバーとともに、優勝目指して頑張りたいと思います。応援に来ていただければ、メンバーの士気もより高まりますので、来ていただける方は宜しくお願い致します！

(記事：中司 昌克)



2017年度全例会
100%出席達成
特別インタビュー
2017年
地域の魅力創造委員会委員長
工藤孝之君

——今回、12ヶ月連続委員会メンバー100%例会出席を達成されました。2017年地域の魅力創造委員会委員長の工藤孝之君に特別インタビューを行います。宜しくお願いします。

まずはこのような機会をくださり、ありがとうございます。当時の委員会メンバーに今日のことを話すとても喜んでくれました。私たちが積み重ねた努力がこうして形になり、また皆さんにお伝えできることを嬉しく思います。

——いづころ100%出席をしようと思ったのでしょうか？

100%出席を意識したというわけではありませんが、例会に出席しようというきっかけはありました。それは2月例会のとき、卒業予定者だった大村先輩がその日は仕事でどうしても参加が難しく、参加確率1%と言われていたにも関わらず、例会も終わりに差し迫った20時30分に会場に現れ、参加してくださいました。普通なら残り30分を切っていたら、もう休もうかなと思うものでしょう。そのなかで大村先輩は来てくれました。そのとき、委員会メンバーの中になにかスイッチを押された気がします。

——メンバー個人に仕事上でどうしても出席が難しいという場面など、達成するにはいろいろな障害もあったと思うのですが、どのように克服していったのでしょうか？

もちろん、毎月全員が参加するということは容易ではありませんでした。

どうしても当日出席できないメンバーももちろんいました。そんな時はメンバーから他LOMの例会にメールキャップしたいと言ってくれました。東広島や福山の例会に参加させて頂き、新しい発見があったのもいい思い出です。

その他にも、夕方、大阪出張から帰ってきて、そのまま例会に参加。途中退席にて東京出張にと強硬スケジュールの今岡副委員長…、あつ、オーストラリア出張でメルボルンJICへのメールキャップ未遂もありましたね(笑)。また国家資格受験のための大事な模擬試験を蹴って出席の沼田委員、極めつけは最後の12月例会当日、高垣監事のまさかの虫垂炎発症。本来なら盲腸手術をしてもおかしくない中、薬で散らし出席してくれました。翌日から入院となりましたが(笑)

——いづころ達成を確信したのでしょうか？

メンバーはいつも、誰が最初に休んで楽になるか！と冗談半分で言っていました。9月に自分たちの野外映画祭事業を終えた頃には、みんな100%例会出席を達成しよう！というムードになっていました。

——100%例会出席を達成した、今の気持ちは？

今、振り返り、達成したことで、嬉しく思っていることは2つあります。1つ目、それは昨年の委員会メンバーがこの記録を誇りに想ってくれていることです。みなさんに祝って頂いたことでさらに喜びが増したと思っています。

そしてもう一つは今年度、100%例会出席を達成している委員会が格段に増えてきていることです。私たちが達成したことにより、頑張れば達成できるんだと思ってくれたメンバーが少なからずいてくれたことが、一番の喜びです。



——工藤委員会の100%出席がメンバーに与えた影響はなんですか？

例会に出席するということは義務のようには思ってしまうかもしれませんが、本当はメンバー全員に与えられた権利です。

毎月、担当委員会が委員長を筆頭に思慮を重ね、膨大な時間を費やし、様々な例会を創り上げています。そこにはたくさん思いが詰まっていると思います。その背景を想像しながら参加した例会は必ず得るものがあると思います。

時にはしんどいときや、仕事や家庭の事で出席が難しいときもあると思います。そんな時は私たちが乗り越えた方法を思い出して活用してみてください。

——最後にこれから委員長を務める人たちにメッセージをお願いします。

JIC活動は出席することこそ、会員資質向上の根幹の一つではないかと思っています。自分で選んだJIC活動に携わるとい一度しかないこの道を、いつか振り返った時に誇れるように歩んで頂きたいと思っています。そこには委員会メンバーというかけがえのない仲間が必ずそばにいますから。



- 2017年度地域の魅力創造委員会
- 副理事長 安楽城 大作
 - 委員長 工藤 孝之
 - 副委員長 今岡 正英
 - 幹事 小林 暢玄
 - 委員 大村 芳弘
 - 委員 河原 研介
 - 委員 岡本 大輔
 - 委員 高垣 利将
 - 委員 大本 誠
 - 委員 沼田 剛志

第155回総会
2018年度理事長サミット

3月24日(土)、東京ビッグサイトにて、公益社団法人日本青年会議所第155回総会及び2018年度理事長サミットが開催され、尾道青年会議所からは安本理事長が参加して参りました。

総会では2017年度の決算議案の審議及び、2018年度の各種大会、事業等の報告が行われました。



(記事：鍋島 巧)

リアル謎解き/ NAZ NOMICHI
親子でチャレンジ
なぞのみち
尾道みなと祭のルーツを解き明かせ!

「なぞのみち」はみなと祭会場を謎や暗号を解きながら探索していく体験型ゲームです。今にわかにブームになりつつある謎解きゲームが尾道みなと祭に初登場します。この謎解きゲームは家族で協力しながら挑戦してほしいという思いのもと企画・制作いたしました。皆さんの挑戦をこころよりお待ちしております！謎を全て解いてゴールへたどり着いたら、豪華賞品に応募することができます。もちろん、ヒントをもらえる場所も用意しておりますので、安心して参加してください。

日時
4月28日(土)・29日(日)
10:00~17:00(受付15:30)

受付場所
駅前渡船乗り場近く

参加費
500円/組

新 入 会 員 紹 介

魚谷 香緒里

はじめまして。魚谷香緒里と申します。

魚占商店という魚肉練製品の製造加工卸業を営んでおります。昨年6月より代変わり致しまして、創業75年の3代目です。

地元根付いた商品作りを心掛け、尾道市内のスーパーと土堂にある店舗で販売しております。魚のすり身は生き物なので、温度差で商品のクオリティーが変わってまいります。柔らかいけど弾力のある絶妙な食感を保つ為に注意を払いながら製造しております。

祖父の作った天ぷらを変わらぬ味を提供する為に日々精進しております。

また、大学を声楽専攻で卒業しておりますので声楽家として演奏活動、後進の指導にも力を入れております。

ミス尾道の経験を活かし、司会業やモデル活動もしております。

JC活動を通し、多くのことを学びながら成長していきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。



藤川 彩

新入会員の藤川彩と申します。新浜にある弁護士法人尾道しまなみ法律事務所において、弁護士として勤務しております。仕事内容として

は、法律相談から訴訟、強制執行まで、分野を問わず様々なことに対応させていただいております。

出身は安芸郡府中町でして、広島県の西側(広島市内等)に住んでいた期間が長かったのですが、昨年、現在の事務所にて就職したことが契機となり、尾道市に移り住むことになりました。

尾道市に移り住んでから間もない時期に、尾道青年会議所のお話をいただけたことも、何かのご縁があったのことで

思いましたので、尾道青年会議所での活動を通じて、尾道の人、地域に対し、少しでも多くの貢献ができればと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。



藤田 祐輔

皆様はじめまして、2018年度新入会員の藤田祐輔と申します。よろしくお願ひ致します。

私の職場は、向島のFJ企画設計室です。建築士として、建築・土木・設計・監理等を業務としております。

JC活動を通じて、いろいろな方から多くのことを学び、私自身成長させていただき、また、微力ながら地元尾道へ社会貢献をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ致します。



村橋 聡

初めまして、新入会員の村橋聡と申します。

私は新尾道駅前にあります平岡社会保険労務士事務所で労働保険や社会保険の手続きはもちろんのこと助成金申請、年金相談、労働紛争の解決、労務管理や安全衛生のアドバイスなどの業務を行っております。

今話題の働き方改革に対応した賃金設計を中心とした制度作りなど何でもお気軽にご相談いただければと思います。

尾道青年会議所への入会理由は私自身広島市出身のため尾道で多くの方とのつながり作りとをもって尾道のことを知り

たいと思ったからです。

35歳での入会ですので短い在籍とはなりますが皆様よろしくお願ひ致します。



春です。私事ですが、娘が小学校に入学しました。新しい環境へと飛び込むさなかにも、「あーしたい!こーしたい!!」と希望に満ちた姿を見ると、私達もかくありたいと思わされます。しみじみと、子どもって、大きいなあ

(記事:三谷 彰紀)

HP



facebook

